

# JSS 海外安全速報

## セアラ州で警察の一部が反乱、治安悪化の懸念

### 《ブラジル：犯罪》

#### 1. 連邦政府が国家治安部隊と国軍の派遣を決定

北東部セアラ州では昨年12月以降、州軍警察官（主に治安維持活動を担当する制服警察）が昇給を要求して抗議行動を断続的に行っていたが、州検察局の要請を受けた裁判所は2月17日（月）、州軍警察による抗議行動を全面的に禁じる決定を下した。

これを切っ掛けに翌18日以降、州軍警察内の一部の反乱グループが、フォルタレーザ州都圏を含む州内の州軍警察施設少なくとも5か所でパトカーを強奪したり、パンクさせて動けないようにするなどのサボタージュを開始し、州保安局によると、これまでに警察官3人が逮捕されたほか、約300人が捜査対象となっている。

19日には、同州ソブラウ市中心部でパトカーに乗った覆面集団が商店に閉店を命じたため、商店が一時閉店する騒ぎが発生したほか、反乱グループとその家族に占拠された同市の州軍警察施設に、バックホーで強行突入しようとした休職中の連邦議会上院議員のシジ・ゴメス元同州知事が銃撃された。元知事は胸部2か所を撃たれて搬送されたが、命に別状はないと見られている。

事態を受けて州政府は19日、州民警察（主に犯罪捜査を担当する私服警察）に対して街頭パトロール活動を要請するとともに、連邦政府に対して全国の警察官等で構成された精鋭部隊「国家治安部隊（FNS）」の同州への派遣を要請し、連邦政府は翌20日までにFNS部隊300人と国軍部隊の30日間の派遣を許可した。

これを受けて20日朝には、FNS部隊の第1陣がフォルタレーザに空路到着したが、同日午後には、市内で州民警察のパトカーが覆面集団に襲われてパトカーが強奪されるなど、混乱が続いている。

現地メディアによると、19日朝から20日朝にかけての州内の殺人発生件数は29件と「普段の約5倍に増加した」とのことであり、FNSや国軍の現地派遣によって、事態が早期に終息に向かうか否かは不透明である。

2月21日（金）から25日（火）までのカーニバル期間には、国内外から大勢の観光客が同州を訪れる見込みであることもあって、期間中の犯罪被害増加が危惧される。

## 2. 駐在員・出張者の留意事項

- ① 事態が沈静化するまでの間、夜間および早朝における不急の外出を控える。スーパー、銀行、ガソリンスタンドなどの利用は日中に済ませる。
- ② 日中であっても市内の徒歩移動は極力避け、車を利用する。
- ③ 検問を行っている警察部隊の指示には素直に従う。
- ④ 万が一、武装集団に襲撃された場合は、少しでも抵抗すると躊躇なく撃たれるので無抵抗に徹する。
- ⑤ 付近で銃撃が発生した場合は、できるだけ姿勢を低くして頑丈な遮蔽物の陰に避難する。

以 上

本レポート内容の全部または一部の転送・転載・第三者への提供を厳禁します。